

富士通セミコンダクターテクノロジー株式会社 環境報告書

Fujitsu Semiconductor Technology Inc. Environmental Report

2010



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

1. ごあいさつ



富士通セミコンダクターテクノロジー㈱

社長 堀 仁

富士通セミコンダクターテクノロジーは、半導体前工程の製造会社です。

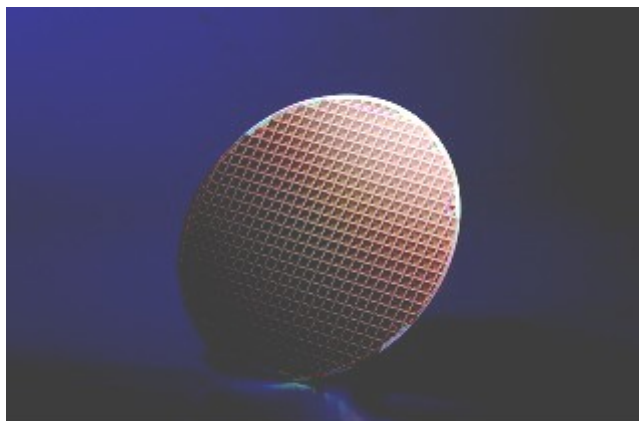
2007年に設立されて以来、環境負荷の少ないものづくりをめざした取り組みを行っています。

2007年には、環境マネジメントシステムを構築し、ISO14001富士通グループ統合認証を取得しました。

今後も「すべてをグリーンにします」を掲げている富士通グループの一員として、地球温暖化防止、廃棄物削減などの環境負荷低減の取り組みを継続していくことにとどまらず、地域社会への貢献活動や生物多様性保全活動の推進に取り組んでいきます。

この環境報告書を通じて、皆さまに私たちの環境活動や環境情報を提供してまいりますのでよろしくお願いいたします。

2. 会社紹介



当社は、半導体前工程の製造工場としてフラッシュマイコン、フラッシュメモリおよびCMOSロジック品を中心とした半導体デバイスの製造・開発を行っています。

当社の製品は携帯電話をはじめとする通信機器、パソコン、カーナビゲーション、ホームオーディオなど幅広い分野に用いられています。

名 称: 富士通セミコンダクターテクノロジー株式会社

操業開始: 2007年4月

従業員数: 775名(関係会社含む)

事業内容: 半導体製造(ロジックLSI他)

3. 環境活動の目標と実績

■ 2009年度の活動目標と結果報告

2009年度の環境目標と結果は下記のとおりです。全項目において、目標を達成しています。

2009年度の活動目標	活動結果	達成状況
エネルギー消費CO ₂ を2005年度実績比12.7%削減する	CGS代替設備の導入と空調調整等により43.5%削減	達成
CO ₂ 以外の温室効果ガス(PFC)の排出量を2006年度実績比70.6%削減する	代替ガス導入等により73.0%削減	達成
揮発性有機化合物(VOC)対象9物質の排出量を監視する	揮発性有機化合物(VOC)の定期測定(3ヶ月毎)を計画どおりに実施	達成
廃棄物発生量を2005年度実績比46%削減する	廃棄物の有償化推進により68.2%削減	達成
環境社会貢献活動を4件、その他の環境行事を4件以上実施する	環境社会貢献活動4件、その他環境行事4件を実施	達成
化学物質の使用量削減施策を年1件以上実施する	硫酸の使用量削減等を2件実施	達成

■ 2010年度の活動目標

2010年度から富士通グループ第6期環境行動計画がスタートします。これまでの地球温暖化防止活動(CO₂／PFC削減)等の活動に加えて、新たに生物多様性保全活動の推進に取り組んでいきます。

2010年度の活動目標

エネルギー消費によるCO ₂ 排出量を2007年度実績比29.5%削減する
CO ₂ 以外の温室効果ガス(PFC)の排出量を1995年度実績比+14.5%以下に抑える
重点化学物質(IPA)の排出量を2007年度実績比41.0%削減する
廃棄物発生量を2007年度実績比55.6%削減する
環境社会貢献活動を3件、生物多様性保全活動を4件実施する

4. グリーンファクトリー

■ 廃棄物ゼロエミッション（廃棄物量減量化対策）

2009年度は2008年度より継続している廃硫酸の有償化や有機アルカリの有償化などにより、前年度より廃棄物発生量を1,535ton削減し、2007年度比で67%削減することができました。

なお、第5期環境行動計画目標（2009年度末まで2005年度比5%削減）を達成（-68.2%）しました。

・主な廃棄物の削減施策：鉛バッテリーの有償化、有機アルカリの有償拡大。

■ 省エネルギー対策

従来からの原動部門省エネ活動に加えて、生産設備省エネ活動等、活動範囲を広げて取り組んでいます。

・主な省エネルギー施策

特にエネルギー消費CO₂削減においては、工場における瞬停対策設備をCGS（燃料：重油）から、エネルギーロスが少ない電気二重層キャパシタ設備の導入により大幅なCO₂削減を実現しています。



電気二重層キャパシタ設備

5. 環境社会貢献活動

当社は毎年、会社周辺の清掃活動を実施しています。クリーン健康ウォークでは自然を満喫しながらのゴミ拾い、また、地域の一斉清掃活動に参加するなど地域と連携をとりながら美化活動を推進しています。



工場周辺清掃活動



クリーン健康ウォークでの清掃活動



会津若松市環境フェスティバルへ出展

6. 社員への環境啓発活動

2009年度はLSIテクニカルセンタースタッフを講師として、FSET初の環境施設見学会を行ないました。理解度テストなどを交え施設の目的を理解しました。環境セミナーにも多くの参加者があり、社員の意識高揚が図られています。



環境セミナー開催



環境施設見学会



ラベンダーの花摘み取り

7. 安心・安全な工場への取り組み

■ リスク対策

環境リスク発生の未然防止を目的として、地下の廃液受槽は二重構造としています。また敷地内の各所に観測井戸を設けて、地下水の水質状況を定期的にモニタリングしています。

■ 土壌・地下水の調査対策

敷地境界付近と地下受水槽近傍に観測井戸や監視井戸を設けて、地下水に汚染がないかを定期的に監視しています。

8. 環境に関わる法規制の順守状況

■ 法令順守

法令、条例等の変更内容および順守状況を定期的に確認しています。2009年においても、法令・条例等に関する違反はありませんでした。

9. 環境会計

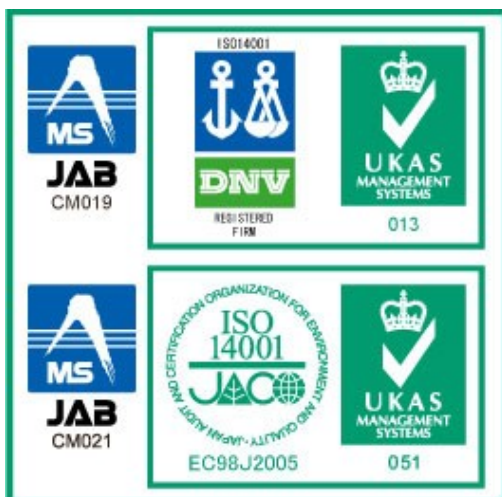
2009年度の環境会計実績は、費用4億1,000万円に対し、効果3億1,000万円という結果となりました。

今後、費用対効果を上げる為、従来から取組んでいる原動設備の省エネ運転、地球環境保全(省エネ施策)実施により、取組みを強化していきます。

2009年度 環境会計実績表(単位:百万円)

項目	範囲	費用	効果
事業エリア内費用・効果	公害防止・地球環境保全・資源循環等	385	307
上、下流費用・効果	廃製品リサイクル、グリーン購入等	0	0
管理活動費用・効果	ISO14001、環境教育、環境広報活動等	25	3
研究開発・ソリューションビジネス費用・効果	製品への環境配慮技術の研究等	0	0
社会活動費用・効果	環境保全団体への寄付、支援等	0	-
環境損傷対応費用・効果	土壌、地下水汚染の修復等	0	0
合計		410	310

10. 環境マネジメントシステム



■統合認証

富士通グループでは、2006年3月に取得した富士通および国内連結子会社を対象とするISO14001の統合認証を海外連結子会社含めたグローバル統合へと統合範囲を拡大しました。

富士通グループWORLD-WIDE統合認証取得年月
2006年3月23日 認証番号:EC98J2005

当社としては、2009年11月に株式会社日本環境認証機構(JACO)の更新審査の結果、ISO14001:2004「適合」と判定されました。

■環境内部監査

当社では、環境負荷状況、環境保全状況の総合的把握、ISOへの適合状況を判定するため、毎年内部監査を実施しています。

富士通セミコンダクターテクノロジー株式会社

お問い合わせ先

担当部署名:総務部環境管理課
住所:福島県会津若松市門田町工業団地6番地
TEL:0242-38-1132 FAX:0242-38-1414

発行責任者:堀 仁
編集責任者:鈴木 資和
発行年月:2010年9月
記載事項対象期間 2009年4月~2010年3月
報告URL:<http://edevise.fujitsu.com/eco/>

